

【参考】連携する各社の概要

- ・ゼンリン (<https://www.zenrin.co.jp/>)

ゼンリンは、「知・時空間情報の創造により人びとの生活に貢献します」を企業理念とし、地理空間情報を活用して地域の皆様と共に課題解決に取り組む「地域共創」の実現に向け、積極的な活動を展開しています。観光分野においても、地域内の周遊を活性化し、滞在時間の延長や観光消費の拡大に貢献することで、持続可能なまちづくりに地域一体となって取り組んでいます。

- ・沖縄都市モノレール (<https://www.yui-rail.co.jp/>)

沖縄都市モノレール（ゆいレール）は那覇市やその周辺を中心とした交通混雑の解消を目的に整備され、2003年8月の開業以来、通勤、通学のみならず、観光にも欠かせない沖縄県の交通機関となっています。2019年10月には浦添市（てだこ浦西駅）まで延伸しました。今後も車両増強による混雑緩和などのサービスの充実化を図ってまいります。

- ・TISI (<https://www.tisi.jp/>)

TIS インテックグループのTISIは、金融、製造、流通、サービス、公共、通信など多様な業種で培った知見とAIをはじめとする先進技術を融合し、4,500社以上のお客さまと社会変革と価値創出を推進しています。300を超えるサービス・ソリューションを国内外で提供し、業務の効率化・高度化を通じて人材不足などの社会課題を解決し、持続可能な社会の実現に取り組んでいます。

- ・ゼンリンインターマップ (<http://www.intermap.co.jp/>)

創業40年を迎えたゼンリンビジネスの沖縄拠点です。ゼンリンが整備する地理空間情報の入力センターとしての機能に加え、地理空間ビジネスのほか幅広いソリューションを展開し、沖縄県内の公共機関や企業のDX推進支援を担っています。